



令和 6 年度 第 1 回区長記者会見

5月27日（月）午前11時00分～
区役所南館4階 災害対策室



目 次

令和6年度 第1回区長記者会見

1. 今年の夏は「荒川放水路通水100周年記念 第65回いたばし花火大会」へ
【くらしと観光課】 1
2. 防災意識をアップデート！東京都・板橋区合同総合防災訓練
【防災危機管理課／地域防災支援課】 3
3. 暑さを楽しくおトクに乗り切ろう♪いたばし熱中症ゼロ作戦開始！
【健康推進課】 7
4. これまでの友好を区民と分かち合う マレーシア・ペナン植物園友好提携30周年記念事業
【環境政策課／文化・国際交流課】 9
5. 令和6年度一般会計6月補正予算（案） 11

今年の夏は「荒川放水路通水 100 周年記念 第 65 回いたばし花火大会」へ

事業概要

荒川放水路通水 100 周年記念事業

荒川放水路通水 100 周年を迎える事を機に、荒川流域の未来像を考え、流域治水の重要性を広く啓発するとともに、河川と共に育んできた文化について考えるきっかけを作ります。板橋区を含めた、荒川下流部沿川 2 市 7 区の首長、東京都、埼玉県、及び荒川下流河川事務所長で同事業実行委員会が構成されています。

万全の体制で臨む、いたばしの夜空を彩る夏の祭典

8 月 3 日(土)、荒川河川敷において、「荒川放水路通水 100 周年記念 第 65 回いたばし花火大会」を実施します。昨年の火災事故の検証結果を踏まえ、観覧者が安心して花火を楽しむことができる体制でお届けします。会場の対岸の戸田橋花火大会（戸田市・戸田橋花火大会実行委員会主催）と同日開催し、大会史上最多の約 1 万 5 千発（戸田橋花火大会含む）の花火が夜空を美しく彩ります。

また、昨年に続き、ふるさと納税の返礼品として観覧チケットを用意します。

事業の内容

尺五寸玉

直径 1 尺 5 寸(45 cm)の花火玉。
この大きさを 23 区内で上げることができるのは、いたばし花火大会だけです。

検証を踏まえた安全対策

火災事故における事故検証会議での検証結果に基づき、東京都、警察、消防等関係各所との協議のうえ検討を重ね、下草刈・事前散水の増強、防火・消火体制の構築、緊急動線の確保、協議伝達体制の構築等の具体的安全対策を講じて実施します。

ワイドスターマイン

速射・連発で発射するスターマインを複数並べて一斉に打ち上げるものをこのように呼びます。

戸田市との圧巻のフィナーレ 「天空のナイアガラ」

大会最後は、同時開催の戸田市との同時打ち上げによる圧巻のフィナーレの演出を行います。

本大会の見どころ

- (1) 荒川放水路通水 100 周年記念 大玉 100 連発
100 年の歴史を記念して、対岸の戸田市と合わせて 100 発の大玉を打ち上げ、夜空を彩ります。
- (2) 都内最大の「尺五寸玉」の打ち上げ
上空 400m に 360m に咲く大輪の花火は、圧倒的な迫力で驚きと感動を与えます。また、幅広い世代に人気があるポケットモンスターの尺五寸玉「超巨大モンスターボール花火」も打ち上げます。
- (3) 河川敷の広さを活かした「ワイドスターマイン」
5 か所から同時に打ち上げます。オープニングの火柱を中央に集約させた演出やフィナーレの「天空のナイアガラ」は見た人の心に大会の余韻を残します。
- (4) 「ナイアガラの滝」
観客席前 300m に壮大な光の滝を生み出します。
- (5) 日本最高峰の花火師たちによる「芸術玉」
最高峰の花火師 10 人それぞれが手掛ける珠玉の一発は、繊細かつ華麗な表現力で見る人を魅了します。

このほか、花火を真正面でダイレクトに堪能できる約 3 万 4 千席の有料指定席や、有料席の陸上競技場には、世界各国の食事が楽しめるフードトラックマーケットを設置します。



主管課・問い合わせ先

産業経済部 くらしと観光課（花火大会について）
課長 池田 雄史 Tel.3579-2250
政策経営部 経営改革推進課（ふるさと納税について）
課長 遠藤 宏 Tel.3579-2014

実施の背景・目的

花火大会を通して板橋区への愛着を醸成

「いたばし花火大会」は、昭和 25 年、板橋区と埼玉県戸田町（現在の戸田市）との境界変更を記念し、翌年昭和 26 年 8 月 18 日に「戸田橋花火大会（戸田町主催、板橋区後援）」として開催されました。以降、東京を代表する夏の風物詩となった「いたばし花火大会」は、区民生活に憩いと潤いを提供しています。

今回の花火大会は、前回大会での反省を活かした安全対策を講じ、安心してご覧いただける環境を整えて実施します。板橋区の魅力を区内外へさらに発信するとともに、自分たちの住むまちへの愛着心を深め、地域の活性化を図っていきます。



花火打ち上げ正面に位置する
プライムシートエリア

今後のスケジュール

6 月 8 日(土)	有料指定席 区内先行販売開始
6 月 10 日(月)	クラウドファンディング型ふるさと納税 受付開始
6 月 15 日(土)	有料指定席 一般販売開始
8 月 3 日(土)	第 65 回いたばし花火大会 開催日

★販売席（指定席）★

1 人から 8 人まで多様な方が楽しめる席を用意。

座席紹介

	座種	席仕様
陸上競技場	丸テーブル席（4 人）	テーブル席
	イス席	パイプ椅子席
	グループ席（8 人）	シート敷
	プライムシート／グループ P 席（8 人）	スタンド席／シート敷
	S 席／グループ S 席（8 人）	スタンド席／シート敷
	A 席／グループ A 席（8 人）	スタンド席／シート敷
	ボックス席（4 人）	スタンド席
	芝生斜面グループ席（8 人）	芝生斜面席

★第 65 回いたばし花火大会応援プロジェクト★

（クラウドファンディング型ふるさと納税）

観覧者が大会を楽しみ、区の魅力を体感していただく会場整備のためのプロジェクト。

返礼品内容

第 65 回いたばし花火大会観覧ペアチケット
（プライムシート 2 枚 1 組）

寄付金額および対象

5 万円以上を寄付していただいた区外在住者の方

返礼品数

先着 100 組 200 人まで

目標金額

500 万円

寄付受付方法

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」より

購入については、直接購入（板橋区観光協会、セブン-イレブン全店）または、インターネット（花火大会 HP、チケットぴあ）より。

※6 月 8 日(土)・6 月 9 日(日)は、区役所本庁舎 1 階に特設販売窓口を開設します。（販売時間：10 時～17 時）

防災意識をアップデート！東京都・板橋区合同総合防災訓練

事業概要



訓練イメージ
(相模原市提供)

リアルな体験から危機管理意識を高める

近年の大規模災害を教訓とした対応策の検証や、首都直下地震など将来発生しうる災害への備えの必要性は全国的に高まっています。8月30日から9月1日にかけて、東京都と合同で消防・警察・自衛隊などの関係機関や近隣住民を含めた実践的な合同総合防災訓練を実施します。

実践的な訓練実施により、有事における手順の確認および課題の検討や、各機関との連携強化、自助・共助に基づく地域防災力の向上を図っていきます。

※内容は現時点での予定になります。

事業の内容

合同総合防災訓練

日時：令和6年9月1日（日）

9時00分～13時00分（予定）

会場：都立城北中央公園ほか

参加関係団体：

板橋区、東京都、消防、警察、自衛隊、
医師会、歯科医師会、災害時協定団体、
地域団体ほか



8月30日(金)

▶ 本部審議訓練（板橋区災害対策本部室・東京都庁ほか）

板橋区と東京都、消防・警察・自衛隊・海上保安庁等関係機関をテレビ会議でつなぎ、地震発生時の災害対策本部会議の運営手順の確認を行います。

8月31日(土)

▶ 緊急支援物資輸送訓練（MFLP・LOGIFRONT 東京板橋ほか）

9月末竣工予定の MFLP・LOGIFRONT 東京板橋の敷地内に、都の備蓄物資や協定事業者などからの支援物資を受け入れ、区内の指定避難所へ運ぶ、緊急支援物資輸送訓練を実施します。

支援物資の仕分けや区内避難所までの緊急輸送、避難所での物資の荷下ろし等を実施し、手順や流れの検証・確認をしていきます。

▶ 避難所運営訓練（区立桜川中学校）

地域住民が主体となった避難所の開設・運営、炊き出し、資器材の取り扱いの訓練を行います。

9月1日(日)

▶ 合同総合防災訓練

都立城北中央公園をメイン会場に、地域住民や関係機関との実践的な訓練を行います。詳細は次ページのとおり。

▶ いたばし防災+（プラス）フェア（区立上板橋体育館）

「防災」に「たのしい」、「おいしい」、「あたらしい」というこれまでになかった要素をプラスして防災意識を高めることをめざす同イベントを同時開催します。



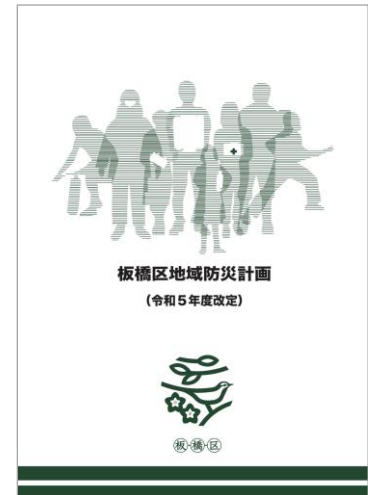
主管課・問い合わせ先

危機管理部 防災危機管理課(東京都・板橋区合同総合防災訓練)
課 長 森 康琢 Tel3579-2112
危機管理部 地域防災支援課(いたばし防災+フェア)
課 長 牧 修造 Tel3579-2150

実施の背景・目的

区民がいつでも安心・安全に暮らせるまちづくりへ

板橋区では、近年増加する大規模災害や被害想定等に基づき、区民の生命、身体及び財産を災害から守るため、災害に強いまちをめざして各種取り組みを進めてきました。この度の東京都との合同総合防災訓練については、昭和57年以来の開催になります。近年の危機管理意識の高まりのなか、有事の際に連携が必要不可欠な関係者が板橋区に一堂に会し、実践的な訓練を行うことで、“その時”に向けた対策の確認をしていきます。



9月1日実施詳細

訓練内容			
訓練名	内容	会場	参加者
救出救助訓練	関係機関が連携した救出救助、道路啓開※訓練 ※ 緊急車両等の通行のため、瓦礫処理を行い、簡易な段差修正等により救援ルートを開けること	都立城北中央公園 陸上競技場	消防、警察、 自衛隊、消防団、 地域住民、 近隣高校生 等
自助・共助訓練	地域住民による救助・救護、初期消火等の体験型訓練	都立城北中央公園 野球場	区民、関係機関 等
展示・体験訓練	関係機関による展示・実演を通じ、身近な防災行動を体験	都立城北中央公園 野球場	区民、関係機関、 ライフライン事業者 等
広域避難訓練	「災害時における相互援助に関する協定」に基づく協定自治体への避難訓練	協定締結自治体	区民等
医療救護活動訓練	東京都・板橋区の保健医療部門や災害拠点病院、医師会等が連携し、拠点病院や緊急医療救護所における初期医療措置等を実施する訓練	区立桜川小学校	関係機関
検視・検案・身元確認訓練	警視庁、医師会、歯科医師会等が連携し、死亡状況や死因調査、所持品等から身元確認を実施する訓練	区立 板橋第一中学校	警視庁、医師会、 歯科医師会 等

※会場・訓練内容が変更になる可能性があります。

訓練全体図



9月1日(日) 合同総合防災訓練会場図

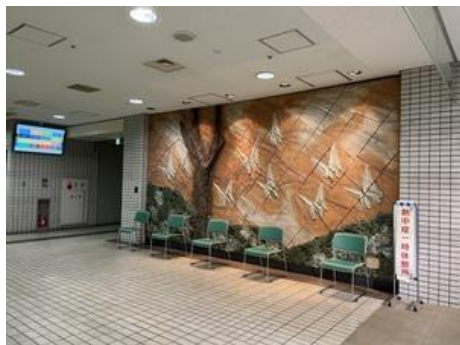
都立城北中央公園

9月1日(日)



暑さを楽しくおトクに乗り切ろう♪いたばし熱中症ゼロ作戦開始！

事業概要



区役所本庁舎内の一時休憩所

この夏も安心に過ごすための環境を整備

昨今の命に関わるような危険な暑さを背景に、気候変動適応法の法改正により、国からクーリングシェルター設置の要請がありました。

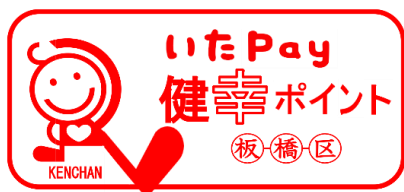
これを受け、区関連施設をクーリングシェルターとするとともに、区独自の地域通貨アプリ「いたばし Pay」を活用した「いた Pay 健幸ポイント」がもらえるキャンペーンによる熱中症の注意喚起、SNS 等を活用した周知等により、熱中症に対する意識を高め、熱中症ゼロをめざします。

事業の内容



クーリングシェルター（マーク）

適切な冷房設備を有しており、危険な暑さから避難できる場所として区市町村長が指定した施設。熱中症特別警戒アラートの発表期間中、開放可能日等に一般に開放します。



クーリングシェルターの整備

既に一時休憩所として設定していた区内関連施設等 62 か所をクーリングシェルターとし、熱中症特別警戒アラート発出時の避暑ができる体制を整えます。

いた Pay 健幸ポイントを活用した啓発活動

いた Pay 健幸ポイント内で、熱中症に関する情報やクイズに参加することでポイントがもらえ、楽しく、お得に、熱中症に対する啓発効果を高め、自発的な熱中症対策への行動を促します。

シニア層への対策強化

熱中症患者の半数以上を占める高齢者への対策を強化し、区内に 5 か所あるふれあい館で実施する「シニアのスマートフォン個別相談会」において、スマートフォンを活用した熱中症対策について啓発を行います。

各種 SNS 等による即時性の高い情報発信

区公式 SNS を活用した日常的な情報発信による注意喚起や HP を活用した緊急時の周知活動を行い、区民一人ひとりが確実に情報を受け取り、熱中症対策・避暑の行動がとれる体制を整えます。

東京都と連携したクーリングシェルターマップの展開

区が設定しているクーリングシェルターの情報を東京都と共有し、都内のクーリングシェルターマップへ反映させることで、区民だけでなく、区外からの来訪者へも情報提供ができる体制を整えます。

主管課・問い合わせ先

健康生きがい部健康推進課

課長 折原 孝 TEL3579-2310

担当 関根 理恵 TEL3579-2821

実施の背景・目的

区民に身近な自治体だからこそその取組を

板橋区では、これまでも暑さ対策として、熱中症対策一時休憩所の開設や、健康福祉センターでの熱中症相談の受付、熱中症対策の啓発を実施してきました。

一方で、区内の熱中症の緊急搬送者は後を絶たず、これを減らし、誰もが安心安全に過ごすことができるようにすることは区の課題でもありました。

今回の取組は、これまでの環境整備に加え、区独自の地域通貨を活用し、情報入手に対する付加価値をつけることで、周知面の強化を図り、熱中症ゼロをめざしています。

熱中症による救急搬送者数

(6～9月分 東京消防庁 HP より)

東京消防庁管内

令和5年度：7,079人(対前年比 117.7%)

(うち、高齢者(65歳以上) 3,671人)

令和4年度：6,013人

(うち、高齢者(65歳以上) 3,229人)

板橋区管内

令和5年度：251人(対前年比 91.3%)

(うち、高齢者(65歳以上) 140人)

令和4年度：275人

(うち、高齢者(65歳以上) 168人)

今後のスケジュール

6月1日(土)から クーリングシェルター・一時休憩所 開設

いた Pay 健幸ポイントキャンペーン 開始

クーリングシェルター・熱中症対策一時休憩所 施設一覧(62か所)

区役所・支所・ 区民事務所	本庁舎1階、赤塚支所1階、常盤台区民事務所、高島平区民事務所
地域センター	板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見・大谷口・常盤台・清水・志村坂上・中台・蓮根・舟渡・前野・桜川・成増・徳丸の各地域センター、舟渡ホール
文化・集会施設	文化会館1階、グリーンホール1階、美術館
スポーツ施設	小豆沢体育館、赤塚体育館、加賀スポーツセンター、上板橋体育館、高島平温水プール
高齢者関連施設	仲町・中台・徳丸・志村・高島平の各ふれあい館 おとしより保健福祉センター 熊野・富士見・清水の各おとしより相談センター ウェルネススペース桜川、ウェルネススペース板橋、ウェルネススペース蓮根
保健・福祉施設	保健所・上板橋・赤塚・志村・高島平の各健康福祉センター
生涯学習施設	大原・成増の各生涯学習センター 教育科学館、郷土資料館、郷土芸能伝承館
図書館	中央・赤塚・清水・蓮根・氷川・高島平・東板橋・小茂根・西台・志村・成増の各図書館

これまでの友好を区民と分かち合う マレーシア・ペナン植物園友好提携 30 周年記念事業

事業概要



これまでの友好を区民と共に祝い、体験するイベント

マレーシア・ペナン植物園との友好提携 30 周年を記念して、関係が深い区立熱帯環境植物館において、同植物園を想起し、より強く現地との絆を身近に感じることができるイベント「マレーシア・ペナンフェア」を実施します。

通常の展示に加え、マレーシア及び同植物園を特集した企画を行います。

事業の内容

実施期間

令和 6 年 9 月 10 日（火）

～ 9 月 29 日（日）



AR 鑑賞体験イベント

AR（拡張現実）技術を通して、マレーシアの熱帯雨林に生息するオランウータンやアジアゾウ等の動物や、世界最大の花ラフレシアといった植物などを館内に浮かび上がらせ、マレーシアに広がる自然や動物をより身近に感じることができる鑑賞体験を提供します。

展示・体験・ワークショップ

マレーシアの自然・街並み等の写真や伝統工芸品の展示、マレーシアからの留学生の協力により、現地の昔ながらの遊び体験、現地に生息する動物を題材にした折り紙ワークショップを実施します。

熱帯環境植物館開館記念デー

9 月 21 日（土）～ 23 日（祝）は、入館料を無料とし、より気軽にマレーシアの文化に触れてもらう機会にします。

（1）マレーシアミニマルシェ

マレーシアの伝統工芸品などの雑貨販売や、現地の郷土料理を堪能できる屋台を設置し、「マレーシア市場」を再現します。

（2）マレーシア舞踊ショー

現地で親しまれている伝統舞踊に触れ、マレーシアの文化体験を提供します。



主管課・問い合わせ先

資源環境部 環境政策課（マレーシア・ペナンフェアについて）
課長 河野 雅彦 Tel.3579-2590
区民文化部 文化・国際交流課（国際交流全般について）
課長 小林 晴臣 Tel.3579-2016

実施の背景・目的

持続的な相互の発展を祈って

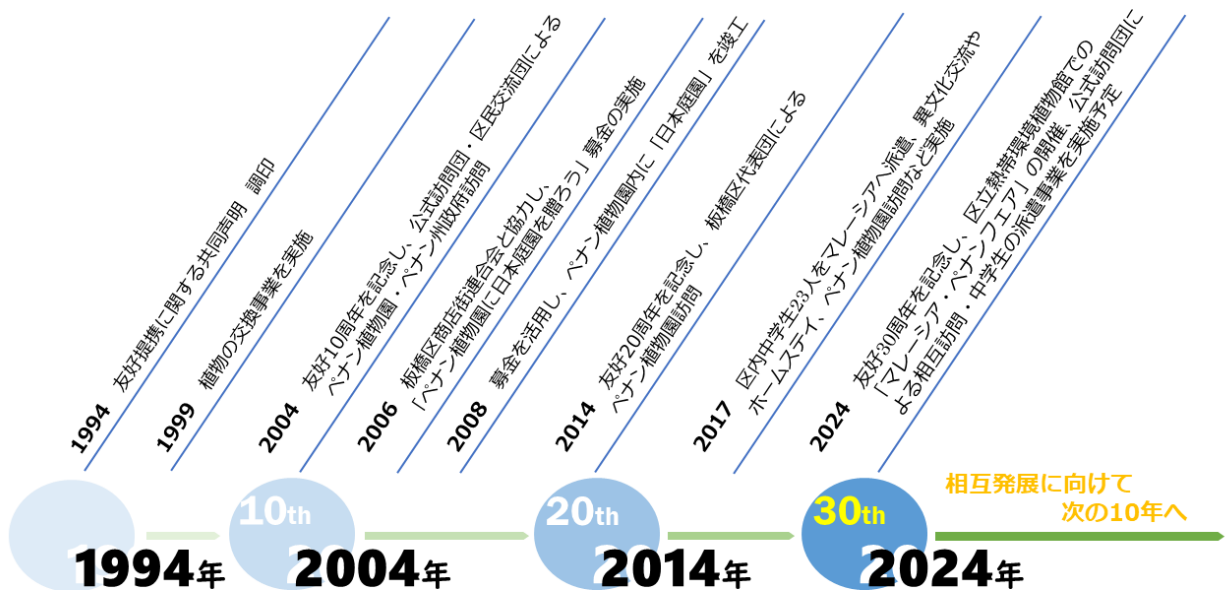
マレーシア・ペナン植物園との交流は、区立熱帯環境植物館の設計段階から始まりました。そして、1994年（平成6年）の熱帯環境植物館の開設に合わせて、両施設の間で「友好提携に関する共同声明」を締結し、植物・種子の交換や技術交流、10周年毎の公式訪問実施など友好関係を深めてきました。

今後も持続的な相互の文化的・技術的発展をめざし、友好交流を推進していきます。



友好20周年訪問時の様子
（ペナン植物園内での記念樹の植樹）

マレーシア・ペナン植物園との これまでの歩み



令和6年度一般会計6月補正予算（案）

主管課・問い合わせ先

【補正予算全般について】
政策経営部 財政課 課長 大森 恒二 Tel.3579-2030
【事業担当所管課の確認】
政策経営部 広聴広報課 報道係 Tel.3579-2025

今こそ命を守る備えを。防災用品等配付事業

防災用品カタログ

●品目例

- ・感震ブレーカー
- ・家具転倒防止金具
- ・携帯トイレセット
- ・防災セット（一般/女性/子ども）
- ・ミニラジオライト など



啓発冊子掲載イメージ
（広報いたばしより）

板橋区は、板橋区地域防災計画の令和5年度の改訂を契機に、令和6年度を「地域防災力推進元年」と位置づけ、区の全世帯を対象として、今秋を目途に、防災用品のカタログ等を配付し、災害発生時の区民の生命・安全を守るサポートを行います。

各世帯に防災用品カタログと防災啓発冊子の2冊をお届け
区が選定した、各世帯で設置または備蓄して欲しい防災用品に特化したカタログをお届けします。

カタログの形式にすることで、各世帯の設置・備蓄状況に応じて必要な用品を選択できるようにし、個別の状況に応じた備えができるようにします。

また、区選りすぐりの知って欲しい情報をまとめた「防災啓発冊子」も併せてお届けします。カタログの用品選定時に読むことで、防災情報を確認しながら、各世帯の実情に合った用品を選択できるだけでなく、防災意識の向上につなげます。

令和6年度東京都板橋区一般会計補正予算（第2号）案

計 27 億 4,700 万円

【事業抜粋】

- 防災用品等配付事業（前述）
- 子どもインフルエンザワクチン任意接種一部補助事業

子育て家庭への支援充実のため、生後6か月から高校3年生相当までの子どもを対象に、インフルエンザワクチン接種に係る費用の一部を補助するための経費等

- 高齢者新型コロナワクチン定期接種事業

高齢者の新型コロナワクチン定期接種（B類）実施に伴う準備経費

※本補正予算案は、令和6年第2回東京都板橋区議会定例会に上程し、審議予定です。



板橋区政策経営部広聴広報課 〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号 TEL03-3579-2025 FAX03-3579-2028